

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 デイズプラス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		カーテンやパーテーションでこのスペースや集団のスペースを各確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		最大15名の利用者に対して4から6人のスタッフが配置されている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		バリアフリーな構造となっている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度評価表のためのアンケートを集計している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公表	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		地域の方に年に一度評価をお願いしている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に一度の研修や外部研修への参加を促している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		計画支援員から保護者の意見を聞き計画に反映させている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		日誌などの記録を作成している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		天候や人数を考慮しながらスタッフ自ら立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		天候や人数を考慮しながらスタッフ自ら立案している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日や長期休暇は特別なプログラムとなっている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		作成されている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼終礼時に打ち合わせ報告を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		朝礼終礼時に打ち合わせ報告を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日誌などの記録を作成している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		月末個人用の記録をまとめている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインについては周知されたうえでの支援を提供している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発官又は担当スタッフが会議に出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		お迎えの時に学校から連絡を受けている。また事業所で報告が必要な時は適時に学校関係者に連絡をする。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		FAXや手紙などで連携を図っている。必要な場合は受診に同行することもある。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		務めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		該当者がいない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要な時に助言をもとめている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		兄弟支援をしている。また地域の公園などで交流をしている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		連絡協議会には参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		ラインや電話などで日々の活動を報告している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		外部の研修案内を送るなどしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々ラインや電話で対応し必要に応じて面談も行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	△		保護者同士の連携はある人もいるが新しい保護者同士のつながりを持つ機会がない。	本年度の行事は保護者参加ができなかったため時期を考慮し来年度は開催したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		日々ラインや電話で対応し必要に応じて面談も行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ラインで送っている。	行事当日に利用がない方には周知されないで改ぜんする必要がある。
	35	個人情報に十分注意している	○		している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域の行事には参加しているが事業所の行事にはシルバー人材サード特定の方に参加してもらおうなどしている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		契約時に説明している。	契約時にするのみなので周知されているとは言えない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		子供たちとは避難訓練をしている	引き渡し訓練など保護者の方も参加の訓練を考えたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		該当なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの聞き取りのみ	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		している。	